



日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➤ JRRN 会員寄稿記事.....	4
➤ 会議・イベント案内 & 冊子等の紹介.....	7

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

「桜のある水辺風景 2021」Instagram で募集開始です。

全国的に桜が満開の地域も多くなってきておりますが、前号でお知らせしたとおり、今年も「桜のある水辺風景」の企画を遂行することになりました。感染症対策には十分に気を付けて、水辺に出かけ桜の写真を撮り、ふるってご応募ください。

今年の募集開始にあたり、昨年とは異なる点が3点ありますのでご説明します（詳細は次頁チラシをご確認ください。）。

【その1】応募は Instagram のみ！

JRRN では、新たに Instagram のアカウントを開設しました。桜以外の活動についても随時発信していく予定ですので、みなさま是非「フォロー」＆「いいね！」をお願いします。

桜のある水辺風景の応募にあたっては、JRRN アカウントをフォローの上、ハッシュタグ「**#桜のある水辺風景 2021**」をつけて投稿してください。なお、昨年までのメール & Facebook の募集は一切取り止めとなりますので、ご注意ください。

【その2】過去の写真でも OK です！

今年から、その年だけではなく過去に撮影された写真の投稿も受け付けることになりました。うまく撮れた写真、思い出の写真などありましたら、撮影時期や思い出などのコメントをつけて、是非投稿してください。

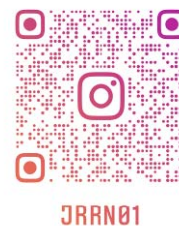
【その3】表彰します！

事務局において最優秀賞 1 点、優秀賞複数点を選定し、JRRN ホームページで公表するとともに、各種刊行物・ウェブサイト等の広報媒体によりおよそ 900 の JRRN 会員をはじめ、リバーフロント研究所など関係機関の協力も得て、全国に積極的に広報します。なお、金品の副賞はございませんので、予めご承知おきください。

それでは皆様、ご応募お待ちしております。

【応募方法】

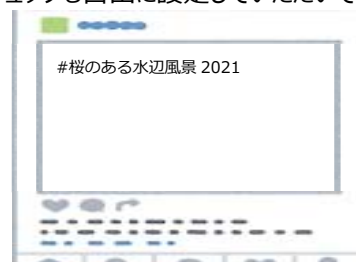
- ① Instagram で JRRN 公式アカウントをフォロー
まずは「jrrn01」で検索して、JRRN のアカウントをフォローしてください。下記 QR コードからでも OK です。



- ② スマートフォン、デジタルカメラで水辺の桜風景を撮影
水辺に行き、素敵な写真を撮影してください。



- ③ ハッシュタグ「#桜のある水辺風景 2021」をつけて投稿
タイトル、撮影時期、思い出などのコメントを自由にご記入いただき、企画名のハッシュタグをつけて投稿してください。それ以外のハッシュタグも自由に設定していただいても構いません。



(JRRN 事務局・阿部充)

「#桜のある水辺風景2021」 Instagramはじめました。

○応募資格：下記応募方法に従い、以下の条件を満たす方であれば
どなたでもご応募いただけます。

①下記作品規定に同意して頂いた方

②Instagramのアカウントを保有し、公開設定にして頂いた方※

※Instagramアカウントをお持ちでない方は、アカウントを作成してご応募ください。

※非公開設定となっている投稿は無効となりますので、必ず公開に設定してください。

○作品規定：ご本人が撮影したデジタル写真のみとする
JRRNの刊行物・ウェブサイトで使用される場合がある
個人が特定できる画像を含む場合は被写体の方の了承を得る

○応募方法：以下の手順に従って、ご応募ください。

①Instagramで「jrrn01」(QRコード→)をフォロー

②スマートフォン、デジタルカメラで水辺の桜風景
を撮影

③ハッシュタグ「#桜のある水辺風景2021」を
つけて投稿※

※タイトル、撮影時期、想いなどのコメントも自由にご記入ください

JRRN公式アカウント!
Follow me!



過去の写真も募集中です。桜と水辺を満喫しましょう！

○応募期間：2021年3月29日（月） ～ 2021年5月9日（月）

○表彰：最優秀賞、優秀賞を選定※し、刊行物・ウェブサイト等の
広報媒体により、全国に積極的に広報します。

※選定者に対する金品の副賞はありません。

○問合せ先：〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号
(公財) リバーフロント研究所内
日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
事務局 担当：阿部 (Eメール: info@a-rr.net)

※応募に関する詳細情報はこちらから：<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1203.html>

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクトー 昨年 11 月に開催した全 3 回の現地研修会開催報告書公開案内、及び今年度の「小さな自然再生」現地研修会開催予告

本ニュースレター前号にて『第 9 回小さな自然再生現地研修会 in 名古屋・矢田川』開催報告書の完成 & 公開を報告させて頂きました。

この度、『第 10 回小さな自然再生現地研修会 in 秋田県大仙市・斉内川』及び『第 11 回小さな自然再生現地研修会 in 京都府南丹市美山町・美山川』の簡易報告書も完成し公開致しました。

この 3 冊の開催報告書は、現地研修会の参加者とともに学んだ内容の一部を、当日の写真と座学講義での配布資料を中心に皆様にご紹介するものです。是非とも皆様にご活用頂ければ幸いです。

「第 9 回現地研修会」は、愛知県建設局河川課、矢田・庄内川をきれいにする会及び「小さな自然再生」研究会の協力により、また「第 10 回現地研修会」は、秋田県建設部河川砂防課、奥山ボーリング株式会社、共和コンクリート工業株式会社及び「小さな自然再生」研究会の協力により、更に「第 11 回現地研修会」は、NPO 法人芦生自然学校、美山漁業協同組合及び「小さな自然再生」研究会の協力により開催することができました。

各研修会にご支援・ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。



※『第 9 回小さな自然再生現地研修会 in 名古屋・矢田川』開催報告書のダウンロードはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/291>



※『第 10 回小さな自然再生現地研修会 in 秋田県大仙市・斉内川』開催報告書のダウンロードはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/299>



※『第 11 回小さな自然再生現地研修会 in 京都府南丹市美山町・美山川』開催報告書のダウンロードはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/303>

なお、2021 年度（令和 3 年度）も、公益財団法人河川財団の河川基金の助成を頂き、全 3 回の「小さな自然再生」現地研修会を全国で開催させて頂きます。

新型コロナウイルス感染拡大が今なお続いておりますので、開催方法や開催場所については、開催候補地の関係者と丁寧に調整しながら検討し、全 3 回の開催企画が定まりましたら、改めて皆様にご案内申し上げます。

(JRRN 事務局・和田彰)

4月

4travel.jp より引用



あの日のあの川 リレー日記 ～第 55 話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第 55 話主人公 榎本開途

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川 (直) 研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：千葉県小櫃川・矢那川)

「イカダで川下り」

いつのこと？：小学生

どこの川？：二級水系 小櫃川

皆様こんにちは。山倉くんからバトンを受け取りました。筑波大学白川研究室の榎本開途です。記憶の薄れている幼少期のことを必死に思い出しつつ、川などの自然にかかわって印象的だったことについて書きたいと思っています。しばらく、お付き合いください。

幼少期は、家にあるキャンピングカーに乗って海・森・川などによく遊びに行きました。子供にとってはとても大きな車で、アメリカ製の車だったためドアを開けるボタンが堅すぎて、押すことが大変だったことを今でもよく覚えています。海では、シュノーケリングや投釣り、キャンプ場では虫取りや魚釣り、料理をして過ごしていました。大自然の中では、初めてみるものやなんだかよくわからないものまでたくさんあり、夢中になって図鑑とにらめっこを繰り返した日々でした。そのなかで、印象的だったことをひとつ思い出しました。夏休みに父とキャンプ場を散歩している途中で、道端にフランクフルトが落ちていました。近くで BBQ をしている大人たちがいたので、きっと料理中に落としてしまったものだろうと思いました。しかし、よく見てみるとうねうねと少し動いていました。近づいてみるとフランクフルトではなく生き物で、15cm ほどの大きなナメクジでした。家の近くでよくみるナメクジは、大きくても 5cm ぐらいだったので、とても驚きました。幼いながらに、知らないものはたくさんあると体感しました。

ここからは、川との記憶について書いていきます。小学 4 年生のころ、手作りのイカダで川(小櫃川)を下るというイベントに参加しました。当日集まったのは、小中学生が 20 名ほどでした。イカダは、市立少年自然の家キャンプ場で作りました。職人の方々のご指導のもと、キャンプ場近くにある竹林や森から切り出した竹と木材、ゴムチューブと釘や紐を使って組み合わせて作りました。翌日に、百目木公園近くにある川岸からイカダにのって出発しました。川下りの途中では、川に落ちる人や川の石でイカダの下にあるチューブが破裂するなどのハプニングがありました。ゴール地点にたどり着いたのは、出発から 2~3 時間ほど後でした。このイベントの内容は、すっかりトム・ソーヤ気分というタイトルで地域の新聞に取り上げられていました。手作りのイカダを作ったことや川下りをしたことで、トム・ソーヤの冒険の一部を体験できたような気がして、思い出に残っています。

私は、家の中で遊ぶことよりも、外で自然に触れていることが多い子供でした。最近の子供達は、スマホの普及によって川などの自然に触れる時間が少なくなっているのではと思います。台風やゲリラ豪雨など水害のニュースが多くなったことも、理由の一つかもしれません。危ないものには近づかないことも大事ですが、ときにはリスクを負うことも必要です。せっかく自然豊かな日本に生まれたなら、その環境を活かして色々と体験してほしいなと思います。そして、自然と関わる子どもたちが増えることを願っています。最後まで読んでいただきありがとうございます。

(次は鎌田一輝さんにバトンを託します)

水辺からのメッセージ No.143

岡村幸二 (JRRN 会員)

フランス郊外の気分： アイデンティティは街の美しさ 魅力的なアーバンデザインのまち



撮影：2021 年 3 月（千葉市美浜区・幕張ベイタウン）

◆街全体も美しく一棟ごとにも美しい

ここの住民は街づくりへの関心が高いと評判です。充実したコミュニティは街に賑わいを生み出し、住民自らの誇りになります。一棟一棟の住宅デザインではなく、街並み形成のデザインを重視しています。パティオス 11 番街の中庭には水景施設による静水面が広がり、潤いのある街並み風景を演出します。

◆道を歩くのが楽しくなるまち

地区内道路は碁盤目状に配置され、すべて通り名がついています。メインストリートは、東西軸では美浜プロムナード、南北軸ではロッテマリーンズの監督の名に因んだバレンタイン通りが印象的です。



連載『水辺からのメッセージ』のバックナンバーは JRRN ホームページ内の以下のページよりご覧いただけます！

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/category/mizube>

会議・イベント案内 (2021 年 4 月以降) *Event Information*

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■令和 2 年度 河川教育研究交流会

○日時：2021 年 3 月 16 日（火）～公開中

○主催：公益財団法人河川財団

○場所：オンデマンド配信

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3180.html>

■令和 2 年度 川づくり団体全国事例発表会

○日時：2021 年 4 月 1 日（木）～公開中

○主催：公益財団法人河川財団

○場所：オンデマンド配信

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3186.html>

■公開シンポジウム「北川研究報告会～霞堤の多様なはたらき～」

○日時：2021 年 4 月 11 日（日） 14:00-16:00

○主催：総合地球環境学研究所 Eco-DRR プロジェクト

○場所：福井県立若狭図書学習センター多目的ホール（福井県小浜市）、オンライン（Zoom）

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3191.html>

■第 13 回 “いい川” “いい川づくり”ワークショップ

○日時：2021 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）

○主催：いい川・いい川づくり実行委員会

○場所：長良川国際会議場（岐阜県岐阜市）

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3166.html>

■皆様からのイベント情報提供をお待ちしています！

全国で河川再生に関わる様々な行事が開催されています。ローカル情報の PR や共有を目的に、皆様からの情報提供をお待ちしております。

冊子等の紹介 *Publications*

■できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 第 2 集



市民が河川や水路の管理者と連携して日曜大工的に取り組む「小さな自然再生」の事例集の続編（第 2 集）の印刷製本版を普及中です。

本事例集は、水辺の小さな自然再生に取り組む全国の担い手の皆さまに、活動の経緯や目的、実施体制、工法の説明や工夫した点、使用材料や工具、施工後の維持管理や利活用の工夫、活動の効果やキーパーソンなどを執筆頂いたものです。

- 編集：「小さな自然再生」研究会
- 企画・構成：吉富友恭 東京学芸大学環境教育センター
- デザイン：本間由佳 明星大学 デザイン学部 デザイン学科
- 発行：日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
- 発行年月：2020 年 3 月

■上記冊子の入手方法

本事例集の印刷製本版の送付をご希望の方は、送料（250 円）のみご負担頂いた上で、2 冊を上限に無料でご提供致します。詳細は右記 URL をご覧ください。 → <http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1149.html>

※PDF 版はこちらからダウンロードできます： <http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/247>

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

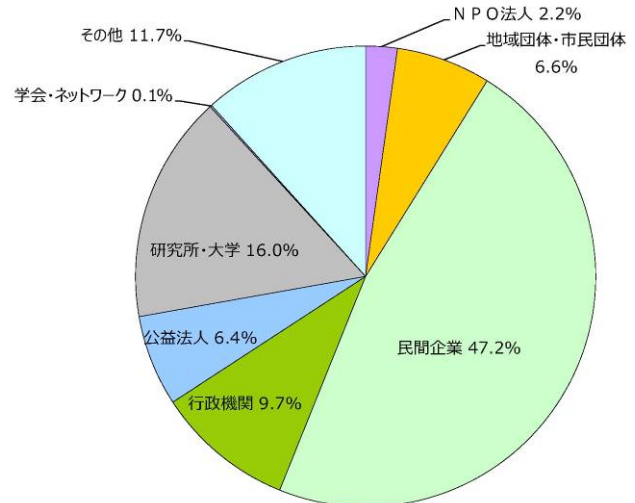
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2021 年 3 月 31 日時点の個人会員の所属構成
 （個人会員数：816 名、団体会員数：61 団体）
 ※3 月の新規入会数：個人会員 2, 団体会員 0

JRRN 会員特典一覧表（団体会員・個人会員）

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRAN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRANが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 NMF 茅場町ビル 7 階 (公財) リバーフロント研究所 内
 Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net
 URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>